

2021年10月28日

各位

会社名 ミナトホールディングス株式会社
 代表者 代表取締役会長兼社長 若山 健彦
 (コード：6862、東証 JASDAQ)
 問合せ先 取締役経営企画部門長 三宅 哲史
 兼 管理部門長
 (TEL 03-5847-2030)
<https://www.minato.co.jp/>

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2021年10月28日の取締役会において、2021年5月12日に公表した2022年3月期(2021年4月1日～2022年3月31日)の業績予想を下記のとおり修正することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2022年3月期通期連結業績予想数値の修正(2021年4月1日～2022年3月31日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|-------------------------|---------------|------------|------------|---------------------|----------------|
| 前回発表予想(A) | 百万円 20,000 | 百万円 270 | 百万円 240 | 百万円 200 | 円 銭 25.89 |
| 今回修正予想(B) | 22,000 | 540 | 510 | 400 | 51.97 |
| 増減額(B-A) | 2,000 | 270 | 270 | 200 | — |
| 増減率(%) | 10.0 | 100.0 | 112.5 | 100.0 | — |
| (ご参考)前期実績 (2021年3月期) | 15,920 | 220 | 199 | 467 | 56.78 |

2. 修正の理由

2022年3月期におきましては、世界的な半導体不足の影響で、顧客企業による部材調達の意欲が高まり、メモリーモジュール製品の需要増が続いています。また、前年度にコロナ禍による影響で落ち込んだデバイスプログラマ関連製品やタッチパネル製品の需要が回復していることに加え、先行投資を行ってきたROM書込みサービス等も堅調に推移しております。

こうした状況を踏まえて各事業セグメントの想定の見直しを実施した結果、2022年3月期の通期連結業績予想について、前回発表予想を上方修正するものであります。

売上高につきましては、前回発表予想を上回る22,000百万円となる見通しです。営業利益につきましては売上高の増加と利益率の改善等により、前回発表予想の2倍の540百万円となる見通しです。また、経常利益は営業利益の改善に加え、為替レートが円安に推移していることなどにより510百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は経常利益の改善により、前回発表予想の2倍の400百万円となる見通しです。

なお、本業績予想の修正に伴う年間配当予想（6円）の変更はございません。

※上記の予想は、本資料の日付時点において入手可能な情報による判断及び仮定を前提にしており、実際の業績等は今後様々な要因により、当該予想値と異なる結果となる可能性があります。

以 上